

省力品種で、クッキングトマトを連続出荷

技術の概要

菜っ葉栽培のように、早生のクッキングトマト品種「すずこま」を複数回播種して、連続収穫します。

1 そのまま食べてはもったいない「すずこま」

- ・ 生で食べては、もったいない。
- ・ 加熱調理が、すばらしくおいしいクッキングトマト品種。
- ・ 省力的な心止まり性、簡単収穫のジョイントレス性。
- ・ 早生で小株。露地、雨よけ、高設など、多様な栽培に。

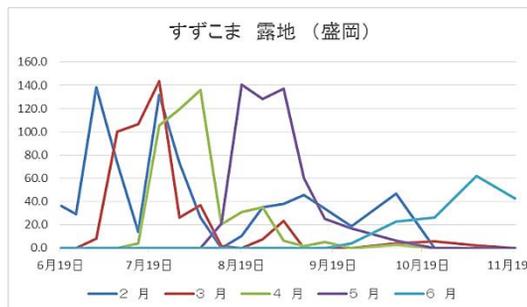


2 菜っ葉のように、複数回播いて、連続収穫

- ・ 数回のタネ播きで、東北の露地作6～10月まで連続収穫。
- ・ 芽かき不要、誘引も簡単な、心止まり性。
- ・ ホウレンソウやコマツナなど、葉菜類との輪作に。
- ・ 雨よけや暖房を利用すれば、さらに長期出荷が可能に。

3 煮て、焼いて、トマト料理を楽しもう

- ・ 加熱した時の風味、色合い、が素敵。
- ・ 「こんなトマトが欲しかった」 ← 一流シェフも絶賛。
- ・ 和、洋、中華に。簡単調理で、おいしい。



期待される効果

- 心止まり性品種の省力栽培で、長期連続出荷を実現。
- 収量は、一作当たり 150～500kg/a。
- 単価は売り方、売り先次第(200～1000円/kgと、様々)。
- 加熱調理が広まれば、トマト消費の大幅底上げに。

【問い合わせ先】

農研機構 東北農業研究センター

〒020-0198 盛岡市下厨川赤平4

電話 019-643-3513

この技術は、農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」で得られた成果です。